



平成24年12月3日

各位

上場会社名 株式会社ニッセンホールディングス  
代表取締役社長 佐村 信哉  
(コード番号 8248)  
問合せ先責任者 執行役員CFO兼財務本部長 石畑 成人  
(TEL 075-682-2041)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成24年7月17日に公表いたしました平成24年12月期(平成23年12月21日～平成24年12月20日)の通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成24年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年12月21日～平成24年12月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	182,600	2,450	2,900	2,500	41.67
今回修正予想(B)	176,900	540	810	△290	△4.83
増減額(B-A)	△5,700	△1,910	△2,090	△2,790	
増減率(%)	△3.1	△78.0	△72.1	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年12月期)	140,715	2,708	2,882	2,377	46.81

#### 修正の理由

当社グループの主力事業であるコマース事業において、株式会社ニッセンでは下期運営方針のもと質的改善を重視してプロモーションコストを抑制したことや、長引いた残暑の影響により秋物商品の売れ行きが低調で大幅な減収が見込まれます。加えて、シャディ関連連結3社(シャディ株式会社及び同社の100%子会社である株式会社エニシル、スリーハート・コーポレーション株式会社、以下「シャディ関連連結3社」といいます。)では、受発注管理、販売管理、在庫管理などを担う基幹システム入替のトラブルに伴う機会損失などにより、売上高は計画を下回る見込みです。

利益面につきましては、売上減少による利益低下、株式会社ニッセンでの中期的な時間軸でのリピート率改善に向けたQSC(Quality商品品質、Serviceサービス品質、Clearness分かりやすさ)向上のための先行投資の約7億円、及びシャディ関連連結3社での基幹システム入替のトラブル等に伴う期間損失の約8億円などが営業利益及び経常利益を押し下げる要因となりました。

その他全社関連としましては、今期の業績を勘案し繰延税金資産の一部取崩しの発生による法人税等調整額の税金費用の増加により約6億円、及び移転を予定している社屋の減損について約1億円の特別損失計上を見込んでおり、当期純利益については計画を大幅に下回る見込みです。

以上により、グループ連結業績予想数値につきまして、前回発表予想より売上高は5,700百万円の減少、営業利益は1,910百万円の減少、経常利益は2,090百万円の減少、当期純利益は2,790百万円の減少となる見込みです。

なお、業績予想の修正による期末配当予想の修正はございません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績については当社及び当社グループをとりまく様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

2. 本日(平成24年12月3日)開催の取締役会において、会社法の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。(本日別途公表の「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご参照ください。)通期業績予想における1株当たり当期純利益の算定において当該影響は加味しておりません。

以上